

公益財団法人ひょうごコミュニティ財団

2014 年度
事業報告書

(公益第 2 期)

(2014 年 7 月 1 日～2015 年 6 月 30 日)

Hyogo Community Foundation

目 次

1. 概況	・ ・ ・ ・ ・ 2
2. 事業	・ ・ ・ ・ ・ 3
(1) ファンドレイジング事業	
(2) 募金箱設置推進事業	
(3) 共感寄付事業	
(4) NPO への助成事業	
(5) 他の基金等の事務局受託等	
(6) 地域課題調査事業（トヨタ財団助成事業）	
(7) NPO への相談・情報提供事業	
(8) 市民コミュニティ財団、市民ファンドの全国的な動きとの連携	
3. 組織	・ ・ ・ ・ ・ 12
(1) 役員、評議員、顧問、専門アドバイザー等の状況	
(2) 支援者の拡大	
(3) 会議	

※附属明細書について

2014年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

1. 概況

実質的に法人2年目となる2014年度、当財団は大きな一歩を記した。初の本格的な助成事業となる「外国にルーツを持つ子ども支援ひょうご基金」(Project HEAT)がHSBCグループのご支援により始まり、当財団の基本ミッションであるNPOへの資金助成がスタートした(事業(4))。また、これに続いて個人の方からのご寄付による初の冠基金も準備中であり、他にも冠基金のご相談をいただいている。このように、当財団への期待が具体的な形をとって現れ始めており、徐々に「離陸」への加速度をつけた1年であった。

設立当初から取り組んできた「共感寄付」は第1期、第2期を実施、合わせて33団体の32事業を応援した。お寄せいただいた寄付金は第1期が3,603,893円、第2期が4,520,775円(6月30日現在)と計約812万円、7月末の第2期終了までの見通しを加味すると計1,000万円を超える寄付を集めることとなった。兵庫におけるNPOの寄付集めの重要なプラットフォームとして育ちつつある(事業(3))。

他にも、デザイン性豊かな募金箱を地域の店舗などに置いていただく事業(事業(2))や、地域調査事業およびネットワーク活動(事業(6))などを精力的に行った。ファンドレイズ面では他に、企業への寄付つき商品の提案を重ねているが、まだ実現はしていない。引き続き提案を続けたい。

2. 事業

(1) ファンドレイジング事業

本年度は約 30 社の企業や団体を訪問し、寄付付き商品・募金箱・共感寄付・賛助会員などのご提案、ご協力をお願いしてきた。神戸地域が中心で、尼崎・西宮など阪神地域、加古川・龍野などの播磨地域などが主な訪問先である。

当財団の理事からも企業や個人などをご紹介頂き、ご提案にお伺いさせて頂いた。次年度における多額のご寄付につながる加古川の個人の方に提案を開始した。

真如苑からも本年度ご寄付を頂き、次年度以降もご提案を進めていくことになっている。

信託銀行などの遺贈関連については、財務コンサルタントとのコンタクトをしっかりと取ること、今後につなげていく道が少しずつたがでてきた。

訪問させていただいた企業の皆さんには本年度、円卓会議、まちづくり交流会、CSR 勉強会にご参加頂いたり、事例を紹介いただき交流を深めてきた。

今後とも新たな提案活動を継続し、ファンドレイジングにつなげていく。

(2) 募金箱設置推進事業

店舗を利用する市民の目にとまるデザインの募金箱を提供し、NPO の活動を理解していただき、募金による参加を促すことを目的としている。企業、商店、団体との関係強化の機会作りにも活用する。

- ・ 神戸芸術工科大学プロダクトデザイン学科の学生にデザインを依頼し、リボンをデザインしたプレゼント型と募金投入口が笑顔になっている笑顔型の 2 種類の募金箱を製作することとなった。単なる募金箱というだけでなく、QR コードを掲示して募金した結果の募金先が見える化した。NPO の活動情報を市民が容易に入手できるようにして、市民参加をより加速する。
- ・ 募金箱による寄付募集は「こども」「災害」「障がい者」の 3 テーマから、設置のお店等で選んでもらう。
- ・ 元町商店街連合会、各丁目の理事会へのご説明や、企業、団体への設置お願いを開始した。共感寄付参加団体には、募金箱設置による募金活動やイベント時に募金箱を活用する。
- ・ 募金箱は 150 個の製作を依頼しており、本年度は 31 個の募金箱が NPO や商店に渡っている。元町商店街には内 11 個が設置されており、今後、約 30 個程度の設置が見込まれている。設置を加速していくために、今後も商店を中心に精力的に巡回する予定である。

(3) 共感寄付事業

市民活動センター神戸から引き継いだ共感寄付の新規展開を行った。新・第一期共感寄付は、2014年7月25日に参加団体を決定し、2014年11月1日～2015年2月28日を寄付募集期間として、第2期は2015年1月29日に参加団体を決定し、2015年3月20日～2015年7月31日を寄付募集期間とした。

A. 新・第一期共感寄付

①参加団体の募集（応募締切：6月9日）

募集コース：原則として応募団体（参加団体）にファンドレイズを委ねる「シンプルコース」と、当財団がファンドレイズの戦略づくりからコミットする「伴走コース」の2種類に分けて募集した。

説明会：兵庫県内4カ所で開催

応募数：23団体23事業（伴走コース9団体、シンプルコース14団体）

団体訪問：選考委員会前に、応募団体の約半数に現地ヒアリングを実施

②選考委員会（7月25日）

下記の皆さまに選考委員を委嘱した。（敬称略、○＝選考委員長）

青木伸也（株）日本政策金融公庫 神戸創業支援センター所長

勝沼直子（株）神戸新聞社 論説委員

小嶋新（特活）しゃらく 理事、生きがいしごとサポートセンター神戸西センター長

○田中茂（特活）シミンズシーズ 理事長

水野雄二 公益財団法人神戸YMCA 総主事

柳瀬厚子 兵庫県企画県民部 県民生活局長

山添令子 生活協同組合コープこうべ 常勤理事

③採択団体

14団体14事業（伴走コース4団体、シンプルコース10団体）

④寄付集めの準備／サポート（8月～10月）

- ・伴走コース以外の団体に対しても、寄付集め開始までに2回の研修（8月18日または26日と9月15日）と、寄付集め期間中に2回の情報共有会（2014年12月2日と2015年1月27日）を行い、寄付集めのサポートを行った。
- ・ファンドレイズをサポートするボランティアである「フレンドレイザー」を一般から募集し、伴走コース支援の強化を図った。（登録フレンドレイザー数：9名）

⑤寄付募集期間（2014年11月1日～2015年2月28日）

3,603,893円（283件）の寄付が集まった。

⑥事業実施期間

集まった寄付金を使用しての事業実施は、2015年1月1日～12月31日の間に行っている。

B. 新・第二期共感寄付

①参加団体の募集（応募締切：12月12日）

募集コース：応募団体（参加団体）に基本的にはファンドレイズを委ねる「シンプルコース」のみの募集を行った。

説明会：兵庫県内4カ所で開催

応募数：22 団体 21 事業

（新規応募 16 団体、継続応募 5 団体、旧共感寄付からの復活応募 1 団体）

団体訪問：選考委員会前に、応募団体の約半数に現地ヒアリングを実施

②選考委員会（2015年1月29日）

下記の皆さまに選考委員を委嘱した。（敬称略、○＝選考委員長）

○青木伸也 （株）日本政策金融公庫 神戸創業支援センター所長

勝沼直子 （株）神戸新聞社 論説委員

小嶋新 （特活）しゃらく 理事、生きがいしごとサポートセンター神戸西センター長

島田雄三 司法書士島田雄三事務所 所長

水野雄二 公益財団法人神戸YMCA 総主事

柳瀬厚子 兵庫県企画県民部 県民生活局長

山添令子 生活協同組合コープこうべ 常勤理事

③採択団体

19 団体／18 事業（新規応募 13 団体、継続応募 5 団体、旧共感寄付からの復活応募 1 団体）

（このほか、当財団自身の 1 事業を掲載）

④寄付集めの準備／サポート（2月～3月19日）

・寄付集め開始までに2回の研修（2月12日と3月7日）と、寄付集め期間中に2回の情報共有会（5月14日と6月23日）を行い、寄付集めのサポートを行った。

⑤寄付募集期間（3月20日～7月31日）

4,520,775円（356件）の寄付が集まった。 ※2015年6月30日現在

（参考：8月6日現在、6,674,780円（500件）

⑥事業実施期間

集まった寄付金を使用しての事業実施は、2015年1月1日～12月31日の間に行う。

(4) NPO への助成事業

本年度は1件の助成プログラム(冠基金の一種)が実現した。また、他に1件の冠基金(個人寄付者)について折衝中である。

【Project HEAT】(外国にルーツを持つ子ども支援ひょうご基金)

HSBC グループからの寄付金をもとに、当財団内に「外国にルーツを持つ子ども支援ひょうご基金」を設置、同基金の助成プログラムとして企画し、実施した。

2月にHSBCと関係が深いNPO法人NICE(日本国際ワークキャンプセンター)経由で打診があり、調整を経てNICE(東京、沖縄)、あいちコミュニティ財団(愛知)、当財団の三者で実施することとなった。3~4月に助成プログラムを企画検討し、4月に公募、応募7団体の中から2団体を採択した。

当財団として初めての本格的な助成事業である。3年間継続の予定であり、新年度の8月には早くも2年目への企画提案を行う予定である。

(採択団体)

助成団体	多文化共生センターひょうご(神戸市東灘区)
助成金額	80万円
対象	中学生年齢以上
内容	キャリア設計プログラムの実施、企業等でのインターンシップの実施、事例分析と教育機関、企業等とのネットワーク構築

助成団体	こくさいひろば芦屋(芦屋市)
助成金額	30万円
対象	小中学生
内容	教科学習支援および日本語基礎支援、日本語能力や英語検定、母語検定などの資格取得支援、高校受験や卒業後の進路に関する相談など

(事業実施期間)

2015年5月19日~2016年3月31日

(プロセス)

4月21日~5月12日 公募

4月21日~5月7日 個別相談

4月27日 説明会

5月13日 選考委員会

(5) 他の基金等の事務局受託等

【公益財団法人神戸文化支援基金の事務局受託】

公益財団法人神戸文化支援基金（愛称・こぶし基金）の事務局業務を前年度より続いて受託し、理事会・評議員会の運営、事業計画・予算および報告・決算等の作成や、選考会の準備、資料作成などの事務を担当した。

なお、本受託業務は、2015年6月末をもって終了した。

【住友ゴム工業 CSR 基金のサポートおよびボランティア情報提供事業】

1) CSR 基金サポート

本事業は、住友ゴム工業株式会社の CSR 事業の一環として、マッチングギフト方式で積み立てられた基金から、環境保全、災害支援、交通安全、地域課題の解決に取り組む団体を対象に助成金を拠出するものである。助成先は、ひょうごコミュニティ財団が推薦した団体を同社内部で選考し決まる。本助成金は使途に制限がほとんどないため、団体にとっては活用しやすいと好評である。

2014年度は、計7団体を推薦し、全団体が採択された。

採択団体一覧

助成団体	助成金額	備考
(特活) まち・コミュニケーション (神戸市)	25万円	
(認定特活) フードバンク関西 (芦屋市)	25万円	
避難サポートひょうご (神戸市)	25万円	
うおずみん・ふるさと創生プロジェクト (明石市)	25万円	継続
明石のはらくらぶ (明石市)	25万円	継続
(特活) 長尾すぎの子クラブ (宝塚市)	18万円	継続
(社福) 兵庫盲導犬協会 (神戸市)	25万円	

2) ボランティア情報提供事業

住友ゴム工業株式会社は CSR 活動の一環として、毎月5日・6日（ゴムの日）に、同社社員約1500名が県内 NPO 活動に参加できるようなボランティア活動・イベント情報（参加無料、低額のもの）を社内イントラネットで提供している。

ひょうごコミュニティ財団はこうした情報を集約し、提供する業務を受託している。情報集約には、複数のメーリングリスト等により行い、毎月2～3件ほどを取りまとめて提供した。より魅力的な情報の収集・提供と、社員参加の促進が課題である。

(6) 地域課題調査事業（トヨタ財団助成事業）

兵庫県内の多くの市民活動団体を知り、地域課題への取り組みを促進するために、地縁団体、行政、地元企業、学校、マスコミなどや他地域とのネットワーク化を進めていくことが必要である。また、この取り組みを通じて、当財団の資源仲介・助成機能を深め強化していくことができる。

本年度は県内 10 地域の内、神戸、東播磨、阪神北地域を中心に市民活動団体、地縁団体、行政、地元企業などの地域調査を進め、昨年度に調査した但馬、西播磨、淡路地域も加えて調査を進めた。調査した団体は NPO 他 50 団体、行政 3 団体、企業 17 団体の合計 70 団体である。

調査項目は団体の設立経緯、地域課題、ニーズ、ミッション、メンバー、事業内容の他、地域資源、強み、助成金や寄付金の状況、地域の他の団体との関わりなど。

調査をもとに、2015 年 2 月に西播磨の中間支援 NPO と円卓会議を共催し、3 月には「まちづくり」をテーマに播磨地域全域（西、中、東、北播磨）を対象として事例紹介と交流会を地域の NPO や行政、企業、学校を集めて実施した。また同月には主に企業と金融機関、NPO を集めて「社会活動の評価・定量化」について神戸で勉強会を実施した。

地域課題のマップ化について、「外国人をルーツにもつ子どもたち」「こどもの育成」「まちづくり」「障がい者」などのテーマごとに、現状と活動している団体を Web に掲載した。

まだデータが不十分なところもあり、説得力のあるマップ化とは言い難いが、今後充実させて兵庫県の地域課題とその解決への取り組み状況を紹介していきたい。

【地域円卓会議】

1) 「西播磨ソーシャルミーツ VOL. 4」2 月 28 日於) 龍野商工会議所

当財団と、NPO 法人ひと・まち・あーとが共催し、市民活動団体や地縁団体、地元企業など合計 27 名が参加した。ヒガシマル醤油（株）、（株）ノーリツによる CSR への取り組みを紹介し、質問や課題を討議した。企業と市民活動団体などとのネットワークを結び、地域課題解決に当たる機会を提供することが狙いである。

2) 「播磨地区 まちづくり交流会」3 月 13 日於) コワーキングスペース電博堂

播磨地域（西・中・北・東播磨）の「まちづくり」に取り組む市民活動団体や行政、大学、企業、金融など 19 名が参加した。淡路島地域、NPO、商工会議所、企業、行政の事例を紹介した後、質疑応答と交流を実施した。

3) 「社会活動、CSR「評価」勉強会&交流会」3 月 25 日於) 神戸市勤労会館

神戸の企業（CSR 担当）を中心に財団、金融など 14 名が参加した。

「社会活動の評価を考える」のテーマで、関西大学 商学部 馬場准教授が世界における社会活動の評価の動向について講演した。また T O A（株）広報室からは CSR 活動の定量評価の試みについて、企業事例を紹介していただいた。その後、評価の方法やコストなど質問や討議を進めた。

(7) NPO への相談・情報提供事業

共感寄付および個別相談を通じて、団体のファンドレイズや組織づくりに関する相談に対応した。

①相談事業

個別相談では、希望団体を対象にのべ 11 日の相談に応じた。

②Web での情報発信

ひょうごコミュニティ財団ホームページおよび共感寄付ホームページ、Facebook を通じ、定期的に団体情報の発信、ファンドレイズに関する情報発信を行った。

(8) 市民コミュニティ財団、市民ファンドの全国的な動きとの連携

「一般社団法人全国コミュニティ財団協会」の会員および「市民ファンド推進連絡会」の世話人団体として活動した。前者は、まだ特筆すべき動きはないものの、個々のコミュニティ財団では対応できない全国規模の企業との連携などには有効と考えられ、また現在、法案が国会提出直前である「休眠口座」の関係でも重要な受け皿となり得ると思われ、引き続き関わってゆく。

後者では、トヨタ財団からの助成金を原資として、コミュニティ財団を含む「市民ファンド」の活動基盤整備のための助成・研修プログラムを企画検討しており、実吉専務理事がその企画メンバーに加わっている。同プログラムではトヨタ財団にとどまらず、他の財団、企業等からも寄付を募り、常設の支援基金に育てていく予定である。

また、以前より実吉が受任している(特活)市民社会創造ファンド理事(運営委員)の役職も、本項に関係が深いため併記しておく。

【全国コミュニティ財団協会関係】

- ◇2014年10月27日(月) 於・日本財団
設立記念交流会「地域における市民コミュニティ財団の役割と可能性」(参加)
- ◇2015年3月3日(火) 於・明治大学
ワークショップ「地域創生時代におけるコミュニティ財団の役割と可能性
～地域を支える新しい資金の循環を目指して～」(参加)
ゲスト: Ms. Lara Kalwinski (ララ・カルウィンスキー氏)
Council on Foundations (全米財団評議会)
ナショナル・スタンダード 担当部長 兼 政策担当調査役
- ◇2015年6月30日(火) 於・龍谷大学
公開フォーラムおよび総会(新幹線事故のため出席できず。懇親会のみ参加)

【市民ファンド推進連絡会関係】

- <市民ファンド推進連絡会>
 - ◇2014年7月30日(水) 世話団体会(スカイプ参加)
 - ◇2014年11月14日(金) 世話団体会(スカイプ参加)
 - (◇2015年7月11日(土) 総会(出席))
- <「市民ファンド推進プログラム」検討会およびその後継のアドバイザリー会議>
 - ◇2014年12月17日(水) 準備会(参加)
 - ◇2015年1月19日(月) 第1回検討会(参加)
 - ◇2015年2月19日(木) 第2回検討会(参加)

4月にトヨタ財団から「市民ファンド推進プログラム」への助成(2年間)が決定した。

4月以降、検討会はメンバーそのままアドバイザリー会議に改組された。

(◇2015年7月11日(土) 第3回アドバイザリー会議(参加))

(同日 公開フォーラム「市民ファンド/コミュニティ財団の“いま”と“これから”を考える」 於・弘済会館)

【両者合同】

トヨタ財団からの助成により、全国コミュニティ財団協会／市民ファンド推進連絡会が合同で全国のコミュニティ財団、市民ファンド等の調査を実施し、これに回答協力した。

【(特活)市民社会創造ファンド】(参考)

実吉専務理事が2011年12月より理事(運営委員)を受任している。現在も市民活動センター神戸の所属で依頼されているが、徐々にひょうごコミュニティ財団としての色も出てきている。

関連して、2012年度より5年間の予定で、住友商事ユースチャレンジプログラム(東日本復興支援のユース活動支援の助成金)の選考委員長を実吉が受任している。

<理事会>

◇2014年9月26日(金)第42回理事会(運営委員会)

◇2015年6月29日(月)第44回理事会(運営委員会)

<住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム>

◇2014年9月20-21日(土・日)ユースチャレンジ・フォーラム2014(中間報告会、仙台)

◇2014年12月16日(火)2015年度第1回選考委員会

◇2015年2月20日(金)2015年度第2回選考委員会

◇2015年4月4日(土)2015年度スタートアップオリエンテーション

3. 組織

(1) 役員、評議員、顧問、専門アドバイザー等の状況

【評議員】

今年度は非改選期であり、全員が継続した。

(任期：2013年6月6日～2017年度評議員会終了時)

評議員 加藤恵正	評議員 木田薫	評議員 小森星児
評議員 高士薫	評議員 竹中ナミ	評議員 中田豊一
評議員 西河紀男	評議員 早瀬昇	評議員 水野雄二
評議員 三野哲治	評議員 三井ハルコ	評議員 山本進

【理事】

理事 下村俊子 (理事長)	理事 島田雄三 (副理事長)	理事 田中茂 (副理事長)
理事 実吉威 (専務理事)	理事 川中大輔	理事 佐藤等史
理事 永田譲蔵	理事 中山光子	理事 村上早百合※
理事 室崎益輝		

※勤務先の異動により、2015年2月28日退任。

2015年5月12日のみなし評議員会において、下記の理事が選任された。

同年5月13日の理事会において、正副理事長、専務理事（業務執行理事）が選任された。

(任期：2015年5月12日～2017年度評議員会終了時)

理事 下村俊子 (理事長)	理事 島田雄三 (副理事長)	理事 実吉威 (専務理事)
理事 川中大輔	理事 佐藤等史	理事 田中茂
理事 永田譲蔵	理事 中山光子	理事 藤井洋一 (新任)
理事 室崎益輝		

【監事】

今年度は非改選期であり、全員が継続した。

(任期：2013年6月6日～2017年度評議員会終了時)

監事 馬場英朗	監事 津久井進
---------	---------

【顧問】

顧問 永田萌

【専門アドバイザー】

阿部陽一郎	石田祐 (新任)	今田忠	鵜尾雅隆
荻野俊子	木村紀雄※	行司高博 (新任)	久戸瀬昭彦 (新任)
久保幸一	茶野順子	長沢恵美子 (新任)	畑本康介 (新任)
細谷崇	松井薫	宮崎洋彰	渡辺元

※勤務先の異動により、2015年3月31日退任。

(敬称略)

(2) 支援者の拡大

2014年10月17日の理事会において賛助会員制度が創設され、2015年6月30日現在、15名/2法人の入会があった。

(3) 会議

【評議員会】

- 2014年9月22日 評議員懇談会（秋毎ビル2階会議室にて）
2014年9月30日 みなし評議員会
審議事項 1. 2013年度決算案承認の件
2015年5月12日 みなし評議員会
審議事項 1. 理事選任の件

【理事会】

- 2014年8月25日 第6回理事会（秋毎ビル2階会議室にて）
出席理事 10名中8名
審議事項 1. 2013年度事業報告案、決算案承認の件
2. 2014年度事業計画案、予算案修正の件
2014年10月17日 第7回理事会（秋毎ビル5階会議室にて）
出席理事 10名中9名
審議事項 1. 賛助会員制度の創立について
2. 共感寄付第2期の実施について
2014年12月12日 第8回理事会（秋毎ビル2階会議室にて）
出席理事 10名中7名
2015年3月5日 第9回理事会（秋毎ビル2階会議室にて）
出席理事 10名中6名
審議事項 1. 村上理事の辞任と後任理事の提案について
2. みなし評議員会の開催について
2015年5月13日 第10回理事会（秋毎ビル2階会議室にて）
出席理事 10名中7名
審議事項 1. 正副理事長、専務理事の選任
2. 「外国にルーツを持つ子ども支援ひょうご基金」
(Project HEAT) 助成団体の選考
3. 専門アドバイザーの依頼について
2015年6月26日 第11回理事会（秋毎ビル2階会議室にて）
出席理事 10名中6名
審議事項 1. 2015年度事業計画案承認の件
2. 2015年度予算案承認の件

【タスクフォース】

2014年7月5日	第1回タスクフォース会議	(秋毎ビル3階会議室にて)
2014年9月19日	第2回タスクフォース会議	(秋毎ビル3階会議室にて)
2014年11月13日	第3回タスクフォース会議	(秋毎ビル3階会議室にて)
2015年1月28日	第4回タスクフォース会議	(秋毎ビル3階会議室にて)
2015年4月8日	第5回タスクフォース会議	(秋毎ビル3階会議室にて)
2015年6月16日	第6回タスクフォース会議	(秋毎ビル3階会議室にて)

※秋毎ビル＝神戸市中央区元町通 6-7-9

2015年8月

公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団

(注) 当財団の「期」の表示について

<2012年度>

一般第1期(法人第1期) 2013年6月6日～6月30日 <25日間>

<2013年度>

一般第2期(法人第2期) 2013年7月1日～2013年7月7日 <7日間>

公益第1期(法人第3期) 2013年7月8日～2014年6月30日 <358日間>

<2014年度>

公益第2期(法人第4期) 2014年7月1日～2015年6月30日 <365日間>

<2015年度>

公益第3期(法人第5期) 2015年7月1日～2016年6月30日 <365日間>
